【事務局長談話】　　2005 年 2 月 9 日

城島顧問に関する報道についての談話

日本食品関連産業労働組合総連合会
事務局長　佐藤　孝司

さて本日各紙で、フード連合顧問である城島衆議院議員に関して、「食品産業労働組合協議会（食品労協）が、民主党の政治資金団体である「国民改革協議会」へ 2 回にわたり 500 万ずつ寄付しているのは、城島議員への迂回献金ではないか」と、昨日の衆議院予算委員会で自民党馳衆議院議員が指摘した報道がなされております。

しかしながらこの件については、本日の新聞報道等にもありますが、以下の通り全く見当はずれの指摘であります。

城島氏への民主党からの拠出は、党の都合による選挙区変更に伴う費用を党が負担したものであり、食品労協からの寄付と全く関係ない。

なお、食品労協からの寄付は、政治資金規正法に則っており、何ら問題はないことも付け加えておく。

このような事実関係にもかかわらず、馳議員は城島氏への取材等もなく発言しており、また当日の予算委員会では城島議員は発言者ではなく、本人からの反論もできない中での全くルール違反の行為でもあり、現在民主党は自民党に対し謝罪を求めています。

このような行為は許しがたいものであり、大変遺憾であるとともに、より建設的な論議で国政の重要な審議が行われることを、心より祈る次第であります。

以　　上

※ 食品労協＝フード連合は、食品連合と食品労協の両組織で新組織を結成した。